

Webサイトもご覧ください!

本紙のWebサイトへは右のQRコードか、下記のURLでアクセスできます。
goo.gl/dy9uyH
 QRコードは(株)デンソーウェブの商標です

ゲンキダスビズ 2020年8月第1号



労使の隔たり大きく、最低賃金の目安示さず

厚生労働大臣の諮問機関である中央最低賃金審議会の小委員会は2020年度の地域別最低賃金額改定の目安を示さなかった。労使

の意見の隔たりが大きかったため、目安が示されなかったのは2009年度以来。学識者らによる公益委員は2019年度の水準を維持すること

が妥当としたうえで、各都道府県の審議について「地域間格差の縮小を求める意見も提案しつつ、適切な審議が行われる」ことを求めた。



文=山本 聡氏 (東洋大学経営学部教授)

カーラッピングという新たな市場を開拓

1987(昭和62)年に創業し、看板デザインを企画・制作している岐阜県各務原市の株式会社デザインラボ。2代目代表取締役社長の苅谷伊(た)氏は自動車フィルムシートで



代表取締役社長の苅谷伊氏

飾る「カーラッピング」を事業化した。スイス・ジュネーブのモーターショーでカーラッピングを知り、趣味のカーレースで、自分の車を看板用フィルムで装飾。これが仲間内で評判になったことから、市場ニーズがあると感じて、2007年にPPF(ペイント・プロテクション・フィルム)事業を始動、カーラッピング事業を始めた。しかし、その直後にリーマン・ショックが発生。苅谷氏はより広い市場を求めて、アメリカ・ラスベガスで開かれる自動車カスタムショー「SEMA SHOW」など海外見本市に参加。当初は出展者に話しかけてニーズを探

るなど消極的な営業姿勢だったが、自社のラッピング技術を世界に発信し、人脈を構築しようと、世界のラッピング・コンテストへの参加を始めた。その結果、2017年のタイ・バンコクのコンテストでの3位入賞を経て、2018年のアメリカ・ロングビーチの「Wrap Olympics」で念願の優勝を果たした。同社はこれらの実績を基盤に、カーラッピング事業で海外市場を切り開いている。



Wrap Olympicsで優勝した時の「カーラッピング」



伸び盛りの20歳 田中希実が快走連発

文=石川 哲也 (スポーツライター)

陸上の本格的な競技再開となった7月の「ホクレン・ディスタンスチャレンジ2020」は好タイムが続出した。中でも田中希実(豊田自動織機TC)は第2戦深川大会の3000mで8分41秒35をたたき出し、18年ぶりに日本記録を更新。1500m、5000mでも日本記録に迫るなど快走を連発した。

「久しぶりの大会でワクワク感もあり、精神的にも肉体的にもいい状態で走ることができました。いい準備ができていたので不安もなく、良い結果を出すことができました」

同志社大学の3年生だが、実業団に所属し、父親がコーチを務める異色のランナー。自粛期間中に地元の陸上競技場が使えたこともあり、実戦形式の練習でモチベーションを維持してきた。来夏開催予定の東京五輪は5000mに出場予定。世界のトップクラスと差が大きいトラック種目で、世界と渡り合える可能性のある逸材が現れた。



ときがわカンパニー合同会社
代表

関根 雅泰氏

新型コロナウイルス感染防止のための在宅勤務で顕著になった運動不足の解消に近所の散策を始めたら、富士山を模した富士塚と呼ばれる低山が近所にあることを知りました。埼玉県ときがわ町に移り住んで11年目の発見。歩きながら仕事のことを考えていると、頭の中を整理できたり、新しいアイデアが浮かんだり。今では毎朝の山歩きが1日の楽しみになっています。



日本生命保険相互会社

NISSAN